

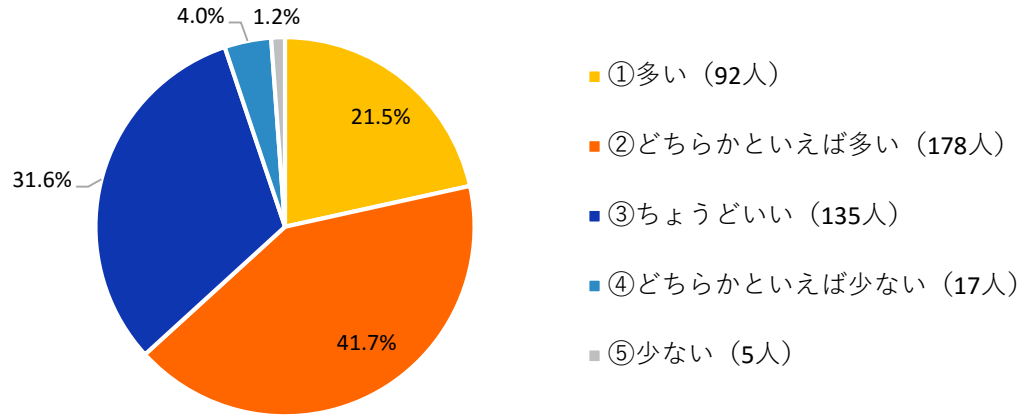
事業の見直し等の更なる徹底のための リストの作成について

～業務見直し工程表（スクラップロードマップ）の徹底～

リストの作成予定時期：令和2年度



自分の業務量をどのように感じますか



「人員不足」と感じている職員が多数を占める

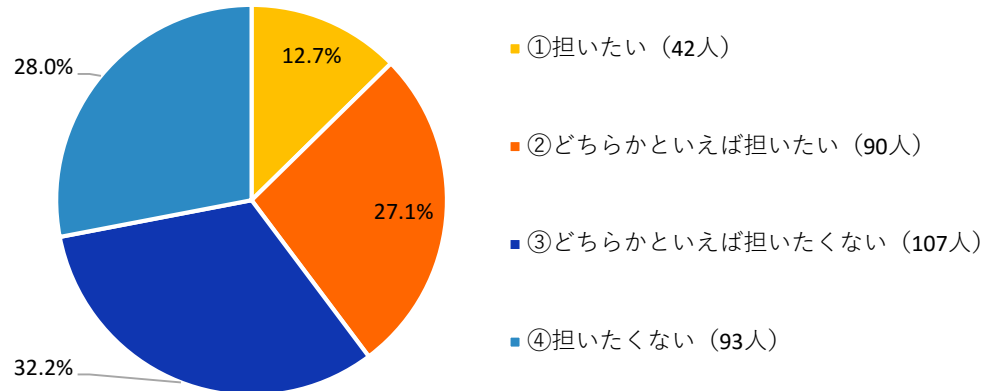


将来の労働力人口の減少を見据えると職員の増加は期待できない



既存事業の見直し・削減や業務の効率化が必要！

将来的に管理職（所属長以上）としてマネジメントを担うことを希望しますか



「自分の能力に自信がない」「責任が重いわりに給料がそれほど高くない」という声が多い

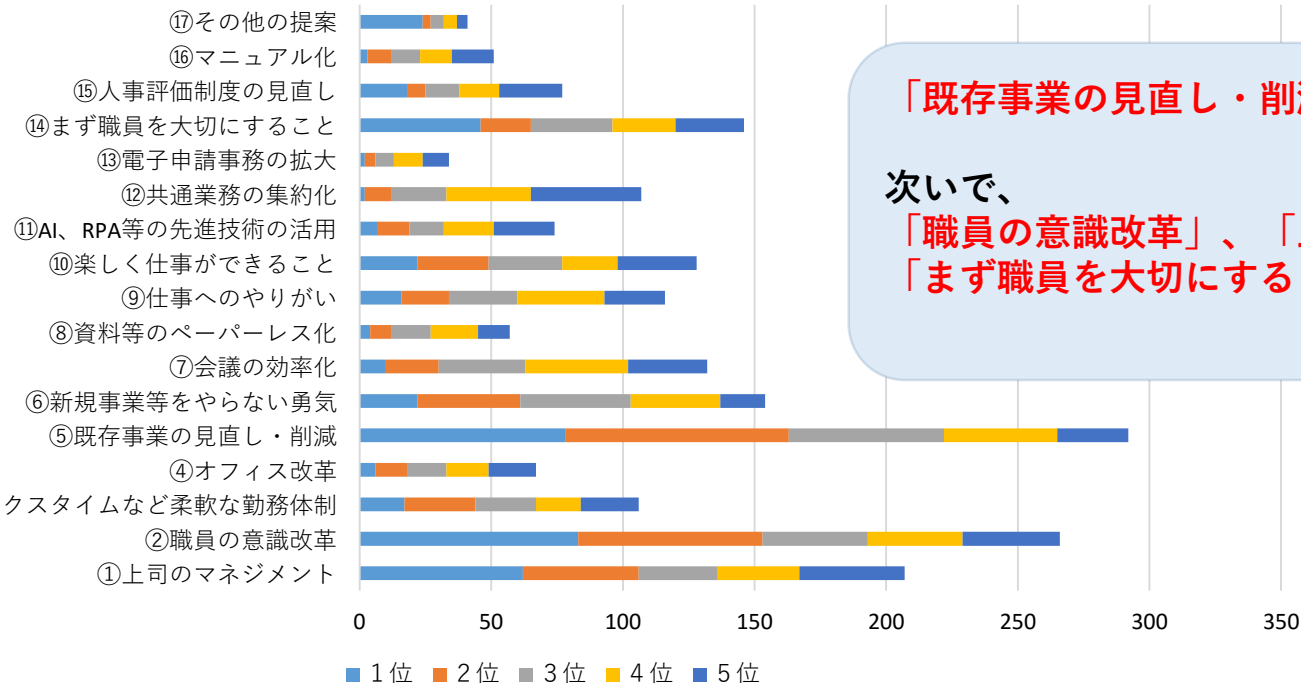


理想の上司を増やすことや人事評価制度の見直しについて検討が必要！



令和元年度に実施した職員アンケート調査結果②

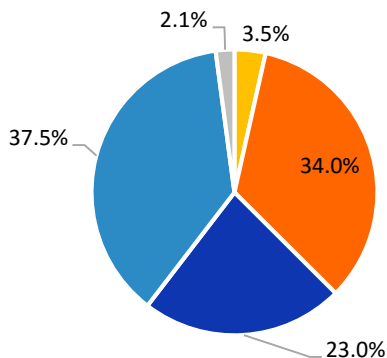
働き方改革を進めるのに何が大切だと考えますか（上位5つを回答）



「既存事業の見直し・削減」が必要という声が多い！

次いで、**「職員の意識改革」、「上司のマネジメント」、「まず職員を大切にすること」が必要という結果であった。**

上記で選択したことを自ら実践していますか



- ① 実践している (15人)
- ② どちらかといえば実践している (145人)
- ③ どちらかといえば実践していない (98人)
- ④ 実践したいができない・できる環境が無い (160人)
- ⑤ 実践しようと思ったことがない (9人)

実践している、もしくはどちらかといえば実践している人は、全体の約37.5%に留まっている。



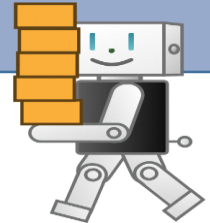
<現状の課題とプロジェクトチーム発足の経緯>

- 「なぜ働き方改革が必要なのか」⇒全ての職員が共通した認識を持つことが必要
- 人口減少、超高齢社会の局面を見据えた自治体経営
⇒自治体が担うべき役割と機能を持続可能な形で発揮できる仕組みが必要

「市民サービス向上と生産性向上のための働き方改革」が、市民のためであるとともに、我々職員のためでもあるという意識改革を図ったうえで、特に改革を目に見える形で実現することを目標として、部局横断的に若手職員を選抜し、草津市働き方改革推進チームを設置



自分達の働き方を自分達で考え実現していくための提言内容



<働き方改革推進チーム：Member>

- | | | | | | |
|---|--|------|---|--|--------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・建築課 ・人権政策課 ・幼児課 ・長寿いきがい課 ・税務課 ・草津宿街道交流館 | 山岡 正明
中波 りく
田辺 祐嗣
黒川 弘子
市原 義明
岡田 裕美 | リーダー | <ul style="list-style-type: none"> ・財政課 ・道路課 ・環境政策課 ・保険年金課 ・上下水道施設課 ・まちづくり協働課 | 吉川 航
岩坂 孝時
榎本 実
松尾 政志
堯部 弘之
大溝 奈緒 | サプリーター |
|---|--|------|---|--|--------|

事務局：行政経営課、職員課、情報政策課

	モチベーションアップ改革	トップダウンリスト改革	スマートオフィス改革	AI・RPA等の活用による業務改革	多言語対応窓口業務改革
提言内容	◇職位や職責に応じた理想の職員像を提示し、周知・共有化を図る ◇働き方改革の取組に対する姿勢や職場環境改善への貢献度等が実現されているかについて部下から上司を評価する制度を導入	◇業務見直し工程表（スクラップロードマップ）「 トップダウンリスト 」を作成し、 事業等の見直しの徹底 を図る。 ◇人事評価制度の見直しを行い、 事業等の見直しに対する業績評価の項目を加える 。	◇資料の電子化や電子裁決の導入、文書管理の運用方法の見直しによるペーパーレス化を促進 ◇フリーアドレスやミーティングエリアの充実と併せて2in1のPC端末を導入	◇RPAの導入を進めるとともに先進技術活用に関する職員の人材育成を行う ◇AI議事録を導入	◇行政の専門用語にも対応可能である多言語通訳サービスを導入
目的・効果	○組織全体へ働き方改革の実現を図る ○部下による評価があることで、仕事の仕方に対する良い緊張感を生み、自分自身を見つめ直す良い機会となり、マネジメント力の強化や職場の活性化に繋がる	○「トップダウンリスト」を作成し、全職員が一丸となって取り組むことによりスクラップ等の徹底が図られる。 ○業績評価に事業等の見直しに対する項目を加えることにより、事業等をビルドするだけでなく、適正な見直しや廃止に対する職員のモチベーションに結び付く。	○執務室や文書保存スペースの確保、文書管理に係る事務負担の軽減 ○コミュニケーションの活性化や生産性の向上 ○消耗品費や非正規職員の集約化	○業務プロセスの見直しと自動化により生産性の向上 ○政策立案等のコア業務に取り組む時間を確保 ○目に見える業務改善により職員の意識改革を促し、業務の標準化や業務プロセスの見直しに繋がる	○外国人住民に対するサービスの向上と職員の窓口業務の負担が軽減 ○英語通訳の職員を雇うことに比べ、安価で導入可能であるうえに多言語対応が可能

平成29年度から「事業等の抜本的な見直しの徹底（廃止だけでなく、既存事業の統合や見直し等による事務事業の効率化を含む）と、将来を見越した「選択と集中」を推進するための手法（ツール）として、事業の課題整理や手法の検討、関係者等への説明を計画的に進めていくための工程表」を策定している。



業務見直し工程表 (スクラップロードマップ)						見直し区分	スクラップロードマップ対象事業等の該当基準		
項目名						担当課	根拠条例等		
事業内容							事業の開始時期	事業の終期設定	終期
H31予算額 (千円)						ロードマップ	事業開始の背景等		
実績						見直しに係る背景等			
	H28	H29	H30	3年平均	歳出額/数				
利用人 (件) 数				#DIV/0!	#DIV/0!	見直し内容			
歳出実績額 (千円)				#DIV/0!	歳入額/数				
歳入実績額 (千円)				#DIV/0!	#DIV/0!	見直しによる効果や問題点			
正規職員が当該事業に要する時間数 〔年間：〇人×〇時間×〇日で積算〕			当該事業に係る人件費 (千円) 〔@4,250円/h×時間数で積算〕		0				
見直し後に正規職員が当該事業に要する 想定時間数〔年間時間数を積算〕			見直し後の人件費 (千円) 〔@4,250円/h×時間数で積算〕		0				
見直しに係る実施計画									
令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
見直しに伴い必要な予算額 (千円) (令和2年度以降は想定概算額)									



これまでの成果

年度	主な内容	単年度の削減事業費
H29	すっきりさわやかサービス事業 他12項目	24,606千円
H30	花街道事業 他7項目	2,467千円
R1	長寿祝金 他15項目	30,012千円

それなりの成果が出ているようにも見えるがボトムアップではなかなか見直しが進まないことが課題！